

令和6年度

当初予算の概要



埼玉県 戸田市

目次

◇令和6年度 戸田市当初予算の概要	1
◇令和6年度 戸田市一般会計・特別会計歳入歳出予算	2
◇歳入予算の概要	3
◇市税（当初予算額と決算額）の推移	3
主な科目の増減内容	4
◇歳出予算の概要	5
目的別分類	5
主な科目の増減内容	5
性質別分類	7
主な増減内容	7
◇市税の状況	8
◇主な事業	10
子ども応援プロジェクト	11
100年健康プロジェクト	14
防災プロジェクト	16

令和6年度の主な取組 (3大プロジェクト以外)	19
----------------------------	----

◇令和6年度 戸田市水道事業会計予算	21
--------------------	----

◇令和6年度 戸田市下水道事業会計予算	22
---------------------	----

令和6年度 戸田市当初予算の概要

令和6年度 一般会計	624億6,600万円
	(前年度比 +34億600万円 +5.8%)
特別会計合計	250億8,591万3千円
	(前年度比 +15億1,021万9千円 +6.4%)
全会計合計	875億5,191万3千円
	(前年度比 +49億1,621万9千円 +5.9%)

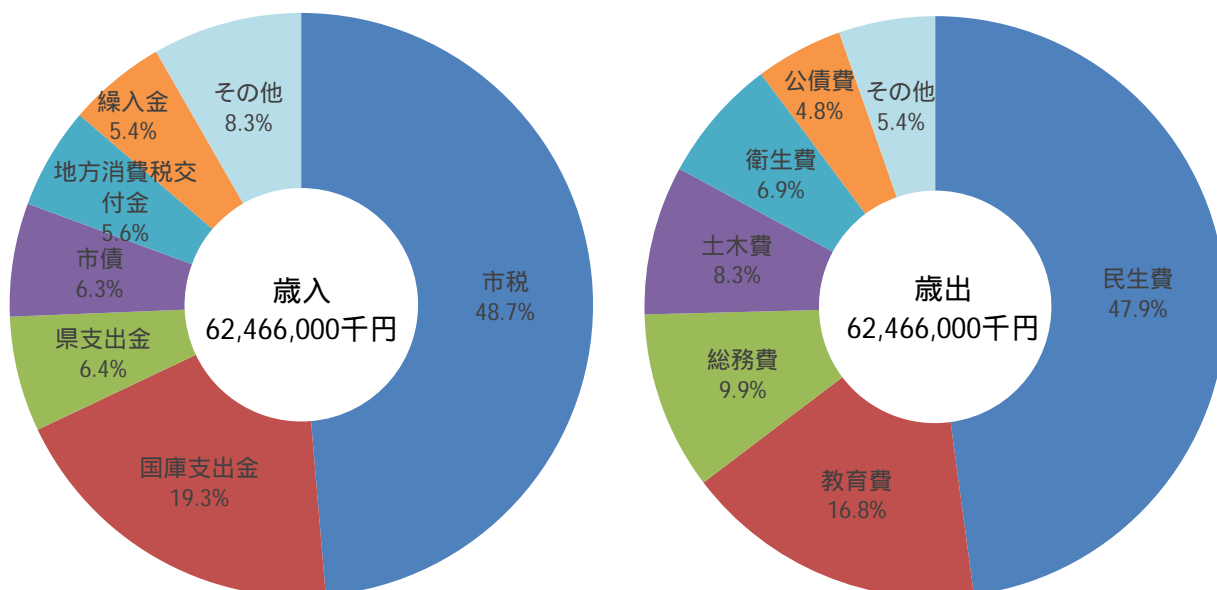
一般会計歳入の主な増

- ・市税 + 約6億1,700万円 (+ 2.1%) ...市民税の増等により
- ・国庫支出金 + 約5億300万円 (+ 4.4%) ...民生費国庫負担金の増等により
- ・市債 + 約16億8,500万円 (+ 75.3%) ...起債対象事業の増により

一般会計歳出の主な増

- ・民生費 + 約24億8,500万円 (+ 9.1%) ...自立支援給付事業の増等により
- ・衛生費 + 約3億2,300万円 (+ 8.1%) ...子育て支援事業の増等により
- ・教育費 + 約8億300万円 (+ 8.3%) ...小学校施設整備事業の増等により

一般会計歳入歳出構成



令和6年度 戸田市一般会計・特別会計歳入歳出予算

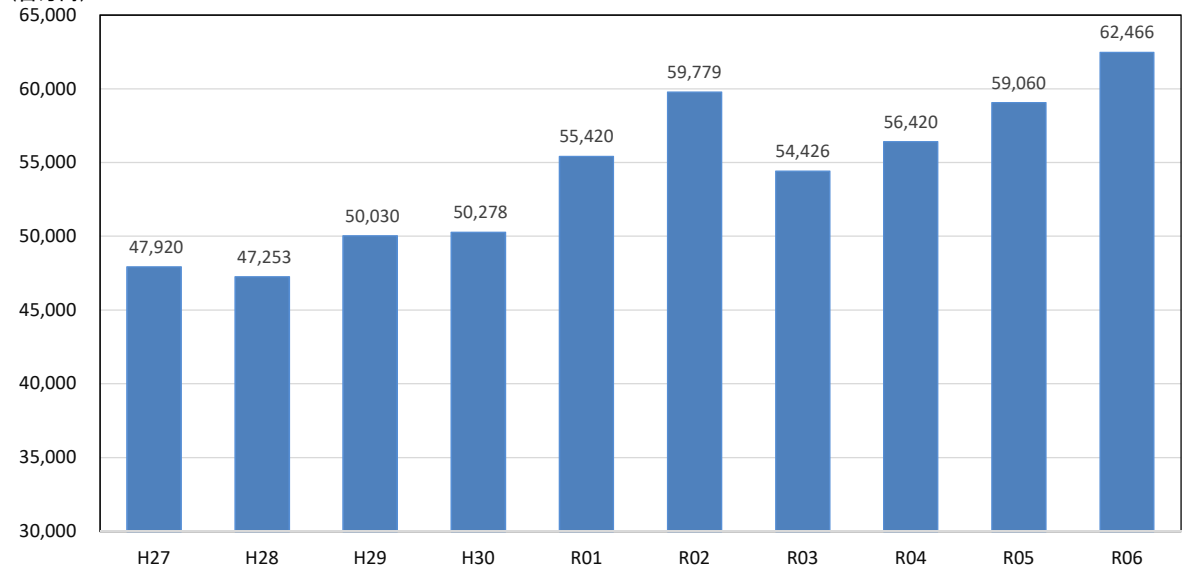
令和6年度 一般会計・特別会計予算額一覧表

(単位：千円)

会計名		令和6年度	令和5年度	比較	対前年度伸率(%)
一	般 会 計	62,466,000	59,060,000	3,406,000	5.8
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	11,315,439	11,022,000	293,439	2.7
	市 民 医 療 セ ン タ ー	784,456	739,201	45,255	6.1
	交 通 災 害 共 済 事 業	4,087	4,997	△ 910	△ 18.2
	海 外 留 学 奨 学 事 業	9,607	8,825	782	8.9
	火 災 共 済 事 業	2,640	2,657	△ 17	△ 0.6
	新 曽 第 一 土 地 区 画 整 理 事 業	2,284,511	901,326	1,383,185	153.5
	介 護 保 険	8,223,700	8,620,779	△ 397,079	△ 4.6
	新 曽 第 二 土 地 区 画 整 理 事 業	845,264	675,044	170,220	25.2
	後 期 高 齢 者 医 療	1,519,359	1,483,569	35,790	2.4
	在 宅 介 護 支 援 事 業	96,850	117,296	△ 20,446	△ 17.4
	特 別 会 計 合 計	25,085,913	23,575,694	1,510,219	6.4
	合 計	87,551,913	82,635,694	4,916,219	5.9

〇一般会計予算規模の推移

(百万円)



〇一般会計・特別会計予算額

5.9%増

一般会計は34億600万円の増額で、主な増額理由としては、小学校教室棟増築・改修等工事、介護給付費・訓練等給付費等、児童手当、民間保育所当運営費等があります。

特別会計は全体で15億1,021万9千円の増額で、新曽第一土地区画整理事業特別会計の事業費の増額が主な要因となっています。

これにより、令和6年度の一般会計及び特別会計の合計額は875億5,191万3千円で、前年度に比べ、約49億1,621万9千円の増額としています。

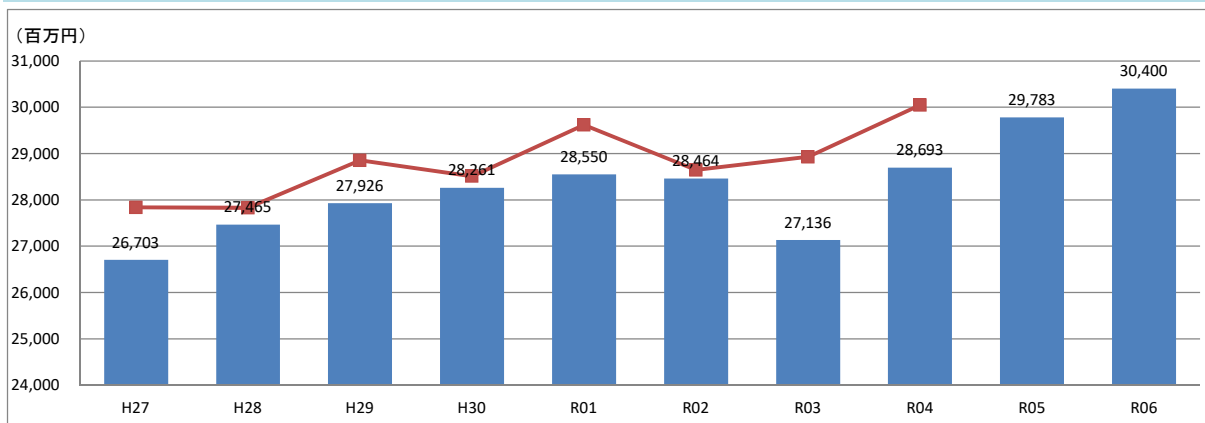
■歳入予算の概要

一般会計款別集計表 (歳入)

(単位：千円)

款	令和6年度	令和5年度	比較	対前年度 伸率(%)	構成比(%)
1 市 税	30,400,800	29,783,011	617,789	2.1	48.7
2 地 方 譲 与 税	236,690	233,000	3,690	1.6	0.4
3 利 子 割 交 付 金	13,440	16,000	△ 2,560	△ 16.0	0.0
4 配 当 割 交 付 金	158,000	150,000	8,000	5.3	0.3
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	120,000	180,000	△ 60,000	△ 33.3	0.2
6 法 人 事 業 税 交 付 金	333,000	350,000	△ 17,000	△ 4.9	0.5
7 地 方 消 費 税 交 付 金	3,518,000	3,215,000	303,000	9.4	5.6
8 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	7,000	7,000	0	0.0	0.0
9 環 境 性 能 割 交 付 金	33,600	33,600	0	0.0	0.1
10 地 方 特 例 交 付 金	175,592	173,945	1,647	0.9	0.3
11 地 方 交 付 税	20,000	23,000	△ 3,000	△ 13.0	0.0
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	14,800	15,500	△ 700	△ 4.5	0.0
13 分 担 金 及 び 負 担 金	429,665	462,373	△ 32,708	△ 7.1	0.7
14 使 用 料 及 び 手 数 料	548,151	540,985	7,166	1.3	0.9
15 国 庫 支 出 金	12,048,411	11,545,066	503,345	4.4	19.3
16 県 支 出 金	3,995,442	3,693,295	302,147	8.2	6.4
17 財 産 収 入	262,530	291,513	△ 28,983	△ 9.9	0.4
18 寄 附 金	90,825	34,055	56,770	166.7	0.1
19 繰 入 金	3,403,514	3,400,713	2,801	0.1	5.4
20 繰 越 金	750,000	750,000	0	0.0	1.2
21 諸 収 入	1,982,539	1,923,243	59,296	3.1	3.2
22 市 債	3,924,001	2,238,701	1,685,300	75.3	6.3
歳 入 合 計	62,466,000	59,060,000	3,406,000	5.8	100.0

■市税（当初予算額と決算額）の推移



※棒グラフ … 予算 折れ線グラフ … 決算 数値 … 予算額

○主な科目の増減内容（単位：千円）

株式等譲渡所得割交付金 33.3%減

株式等譲渡所得割交付金は6,000万円の減額で、近年の交付状況から減額としています。

- ・株式等譲渡所得割交付金 $\Delta 60,000$ (180,000 \rightarrow 120,000)

地方消費税交付金 9.4%増

地方消費税交付金は3億300万円の増額で、近年の交付状況から増額としています。

- ・地方消費税交付金 $+303,000$ (3,215,000 \rightarrow 3,518,000)

国庫支出金 4.4%増

国庫支出金は約5億334万5千円の増額で、障害者自立支援給付費、児童手当等に係る国庫負担金、認定こども園に対する就学前教育・保育施設整備交付金、学校施設環境改善交付金等を増額しています。

- ・就学前教育・保育施設整備交付金 $+275,937$ (0 \rightarrow 275,937)
- ・児童手当 $+275,319$ (1,642,820 \rightarrow 1,918,139)
- ・障害者自立支援給付費 $+211,226$ (905,074 \rightarrow 1,116,300)
- ・学校施設環境改善交付金 $+163,068$ (161,764 \rightarrow 324,832)

寄附金 166.7%増

寄附金は約5,677万円の増額で、ふるさと納税による寄附額が増加傾向であることから、増額としています。

- ・寄付金 $+56,770$ (34,055 \rightarrow 90,825)

市債 75.3%増

市債は16億8,530万円の増額で、新曽、芦原小学校教室棟（含給食調理場）増築等事業、戸田第一小学校改築等事業、小中学校防犯対策改修、健康福祉の杜改修工事等に起債を予定しています。

※主な起債予定

- ・新曽小学校教室棟（含給食調理場）増築等事業 1,076,100
- ・芦原小学校教室棟（含給食調理場）増築等事業 680,900
- ・戸田第一小学校改築等事業 383,600
- ・喜沢小学校外壁及び屋上防水改修 225,600
- ・戸田第二小学校外壁及び屋上防水等改修事業 141,400
- ・小中学校防犯対策改修 101,400
- ・健康福祉の杜改修工事 44,100

■歳出予算の概要

①目的別分類

目的別分類は、歳出をその行政目的に応じて区分するもので、予算の「款」を基準としています。

(歳出：目的別)

(単位：千円)

款	令和6年度	令和5年度	比較	対前年度 伸率(%)	構成比(%)
1 議会費	450,070	400,372	49,698	12.4	0.7
2 総務費	6,187,850	6,128,331	59,519	1.0	9.9
3 民生費	29,903,539	27,417,745	2,485,794	9.1	47.9
4 衛生費	4,317,252	3,993,512	323,740	8.1	6.9
5 労働費	30,975	30,828	147	0.5	0.1
6 農林水産業費	10,374	11,643	△ 1,269	△ 10.9	0.0
7 商工費	687,913	713,507	△ 25,594	△ 3.6	1.1
8 土木費	5,178,738	5,638,709	△ 459,971	△ 8.2	8.3
9 消防費	1,832,176	1,755,551	76,625	4.4	2.9
10 教育費	10,501,582	9,698,250	803,332	8.3	16.8
11 災害復旧費	10	10	0	0.0	0.0
12 公債費	2,966,862	3,017,237	△ 50,375	△ 1.7	4.8
13 諸支出金	198,659	154,305	44,354	28.7	0.3
14 予備費	200,000	100,000	100,000	100.0	0.3
歳出合計	62,466,000	59,060,000	3,406,000	5.8	100.0

○主な科目の増減内容（単位：千円）

総務費

1.0%増

総務費は約6,000万円の増額で、公共施設LED照明器具賃貸借や本庁舎修繕（駐車場、擁壁、トイレ等）等を増額とする他、庁舎スロープ改修等工事業務等を減額としています。また、各選挙費用の増減も行っています。

・市議会議員選挙	+105,723 (0 → 105,723)
・本庁舎修繕（駐車場、擁壁、トイレ等）	+ 65,964 (109,163 → 175,127)
・公共施設LED照明器具賃貸借	+ 33,946 (32,830 → 66,776)
・庁舎スロープ改修等工事業務	△296,921 (296,921 → 0)
・県議会議員及び県知事選挙	△ 83,911 (83,911 → 0)

民生費

9.1%増

民生費は約24億8,500万円の増額で、介護給付費・訓練等給付費等、児童手当、認定こども園施設整備事業、高校生の通院無償化を含む医療費支給金等を増額としています。また、生活保護費を減額としています。

・介護給付費・訓練等給付費等	+690,275 (2,536,485 → 3,226,760)
・児童手当	+429,585 (2,350,815 → 2,780,400)
・認定こども園施設整備事業	+304,866 (109,039 → 413,905)
・民間保育所等運営費（委託料）	+238,198 (4,400,648 → 4,638,846)
・医療費支給金（高校生の通院無償化含む）	+204,064 (696,747 → 900,811)
・保育士確保・定着促進事業（とだ保育士応援手当）	+135,880 (133,400 → 269,280)
・学童保育室新築・改修工事	+130,108 (0 → 130,108)
・健康福祉の杜改修工事	+ 55,242 (0 → 55,242)
・生活保護費（扶助費）	△261,971 (5,519,450 → 5,257,479)

衛生費 8.1%増

衛生費は約3億2,000万円の増額で、産後ケア、産後サポート事業、带状疱疹ワクチン接種費用助成事業及び蕨戸田衛生センター分担金等を増額しています。

・新型コロナウイルスワクチン接種事業	+168,418 (0 → 168,418)
・蕨戸田衛生センター分担金	+74,015 (889,139 → 963,154)
・産後ケア、産後サポート事業	+51,711 (1,611 → 53,322)
・带状疱疹ワクチン接種費用助成事業	+31,708 (0 → 31,708)

労働費 0.5%増

労働費は前年度とほぼ同規模の予算とし、労働者意識調査業務を増額、労働対策事業の預託金等を減額しています。

・労働者意識調査業務	+4,048 (0 → 4,048)
・中央労働金庫預託金	△4,674 (19,683 → 15,009)

農林水産業費 10.9%減

農林水産業費は約120万円の減額で、戸田収穫祭関係業務を減額しています。

・戸田収穫祭会場設営・警備等業務	△1,762 (1,762 → 0)
------------------	--------------------

商工費 3.6%減

商工費は約2,500万円の減額で、戸田橋花火大会に係る費用等を減額しています。また、ふるさと納税関係事務や市の魅力PR冊子作製事業等の増額をしています。

・ふるさと納税関係事業	+27,593 (16,450 → 44,043)
・市の魅力PR冊子作製事業	+13,918 (0 → 13,918)
・戸田橋花火大会	△20,695 (159,522 → 138,827)

土木費 8.2%減

土木費は約4億6,000万円の減額で、さくら川整備事業や新曽第一区画整理事業特別会計繰出金を増額しています。また、新曽第二区画整理事業特別会計繰出金、都市開発基金積立金及び公有財産購入費等を減額しています。

・さくら川整備事業	+165,001 (264,139 → 429,140)
・新曽第一土地区画整理事業特別会計繰出金	+126,434 (789,956 → 916,390)
・新曽第二土地区画整理事業特別会計繰出金	△216,337 (519,388 → 303,051)
・公有財産購入費（都市計画道路前谷馬場線整備事業）	△197,462 (197,462 → 0)
・都市開発基金積立金	△68,727 (69,603 → 876)
・公有財産購入費（新曽中央地区まちづくり用地）	△56,969 (124,464 → 67,495)

消防費 4.4%増

消防費は約7,600万円の増額で、35m級はしご付消防自動車のオーバーホール修繕や水槽付き消防ポンプ自動車を購入する消防車両等整備維持管理事業や災害時に必要となる物品の購入費用を増額しています。

・消防車両等整備維持管理事業	+36,216 (78,849 → 115,065)
・災害時物品購入費（消耗品・備品）	+55,867 (34,685 → 90,552)

教育費 8.3%増

教育費は約8億円の増額で、小学校教室棟増築・改修等工事や小・中学校防犯対策改修により増額としています。また、小・中学校への大型提示装置構築等業務や戸田第一小学校仮設校舎等の賃借料等を減額しています。

・小学校教室棟増築・改築等工事請負費 （新曽小学校・戸田第一小学校・芦原小学校・戸田南小学校）	+942,503 (2,115,036 → 3,057,539)
・小・中学校空調設備更新	+205,082 (300,002 → 505,084)
・小・中学校防犯対策改修	+199,111 (0 → 199,111)
・賄材料費（学校給食）	+63,895 (686,251 → 750,146)
・小・中学校大型提示装置構築業務等	△389,807 (389,807 → 0)
・戸田第一小学校仮設校舎賃借等	△220,238 (220,238 → 0)
・小・中学校備品購入費	△173,342 (306,476 → 133,134)

②性質別分類

(歳出：性質別)

単位：千円

区 分		令和6年度	令和5年度	比 較	対前年度 伸率(%)	構成比(%)
義務的経費	人 件 費	9,459,412	9,072,257	387,155	4.3	15.1
	扶 助 費	19,645,462	18,263,002	1,382,460	7.6	31.5
	公 債 費	2,966,862	3,017,237	△ 50,375	△ 1.7	4.7
	計	32,071,736	30,352,496	1,719,240	5.7	51.3
投 資 的 経 費		6,012,153	5,061,738	950,415	18.8	9.6
物 件 費		12,901,403	12,320,762	580,641	4.7	20.7
維 持 補 修 費		642,678	480,963	161,715	33.6	1.0
補 助 費 等		6,153,004	5,909,693	243,311	4.1	9.9
積 立 金		40,608	110,419	△ 69,811	△ 63.2	0.1
貸 付 金		196,790	247,054	△ 50,264	△ 20.3	0.3
繰 出 金		4,247,628	4,476,875	△ 229,247	△ 5.1	6.8
予 備 費		200,000	100,000	100,000	100.0	0.3
計		62,466,000	59,060,000	3,406,000	5.8	100.0

○主な増減内容 (単位:千円)

義務的経費

5.7%増

その支出が義務づけられ任意に削減できない経費で、人件費、扶助費、公債費をいいます。

義務的経費は約17億1,900万円の増額となっています。

義務的経費のうち、扶助費は13億8,200万円の増額で、介護給付費・訓練等給付費等、児童手当、子ども医療費支給金等が主な要因となっています。また、人件費は前年度に比べ約3億8,700万円の増額、公債費は約5,000万円の減額としています。

投資的経費

18.8%増

その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費をいい、普通建設事業費、災害復旧費がこれらに分類されます。

投資的経費は約9億5,000万円の増額で、新曾、芦原小学校教室棟(含給食調理場)増築等工事の進捗状況等により小学校施設整備事業が主な要因となっています。

物件費

4.7%増

地方公共団体が支出する消費的な経費です。

物件費は約5億8,000万円の増額で、情報系基幹系仮想基盤構築業務の実施や防災関連備蓄品の購入、議場システム更改、健康福祉の杜管理運営費等が主な要因となっております。

繰出金

5.1%減

一般会計と特別会計相互間において支出される経費です。地方公営企業法が適用される事業への繰出金は補助費等に分類されます。

繰出金は約2億2,900万円の減額で、国民健康保険特別会計、新曾第一土地区画整理事業特別会計繰出金以外の特別会計繰出金は全て減額となります。

・国民健康保険特別会計繰出金	+ 11,998 (1,106,306 → 1,118,304)
・介護保険特別会計繰出金	△ 30,117 (1,300,388 → 1,270,271)
・後期高齢者医療特別会計繰出金	△ 63,486 (268,838 → 205,352)
・市民医療センター特別会計繰出金	△ 37,259 (442,688 → 405,429)
・在宅介護支援事業特別会計繰出金	△ 20,566 (49,081 → 28,515)
・新曾第一土地区画整理事業特別会計繰出金	+126,434 (789,956 → 916,390)
・新曾第二土地区画整理事業特別会計繰出金	△216,337 (519,388 → 303,051)

■市税の状況

現年度課税分と滞納繰越分を合計した市税全体の予算総額は約304億円で、令和5年度と比較して約6億1,700万円の増額となっています。この内、現年課税分について、個人市民税は納税義務者の増を見込むとともに、景気動向や勤労統計調査等をふまえ、約2億6,900万円の増、法人市民税は令和5年度調定額等を勘案し約2,800万円の増額となっています。また、固定資産税については、地価が上昇しており、令和6年度は評価替え年度にあたり土地評価額が上昇することをふまえ、約2億7,200万円の増となっています。

1. 現年課税分

(単位：千円)

区 分	年 度	令和6年度			令和5年度			前年度当初予算額との比較	
		当初調定見込額	当初予算額	徴収率	当初調定見込額	当初予算額	徴収率	金 額	伸 率
市 民 税	個 人	11,414,713	11,254,906	98.6%	11,141,018	10,985,042	98.6%	269,864	2.5%
	法 人	2,147,897	2,135,009	99.4	2,121,559	2,106,708	99.3	28,301	1.3
	計	13,562,610	13,389,915	98.7	13,262,577	13,091,750	98.7	298,165	2.3
固 定 資 産 税	固定資産税	13,345,126	13,291,743	99.6	13,063,987	13,011,730	99.6	280,013	2.2
	国有資産等 所在市交付金	334,123	334,123	100.0	341,572	341,572	100.0	△7,449	△2.2
	計	13,679,249	13,625,866	99.6	13,405,559	13,353,302	99.6	272,564	2.0
軽自動車税	種別割	135,308	132,737	98.1	135,129	132,561	98.1	176	0.1
	環境性能割	9,140	9,140	100.0	10,111	10,111	100.0	△971	△9.6
	計	144,448	141,877	98.2	145,240	142,672	98.2	△795	△0.6
市たばこ税		1,146,638	1,146,638	100.0	1,116,894	1,116,894	100.0	29,744	2.7
都市計画税		1,953,426	1,945,611	99.6	1,899,971	1,892,371	99.6	53,240	2.8
合 計		30,486,371	30,249,907	99.2	29,830,241	29,596,989	99.2	652,918	2.2

2. 滞納繰越分

(単位：千円)

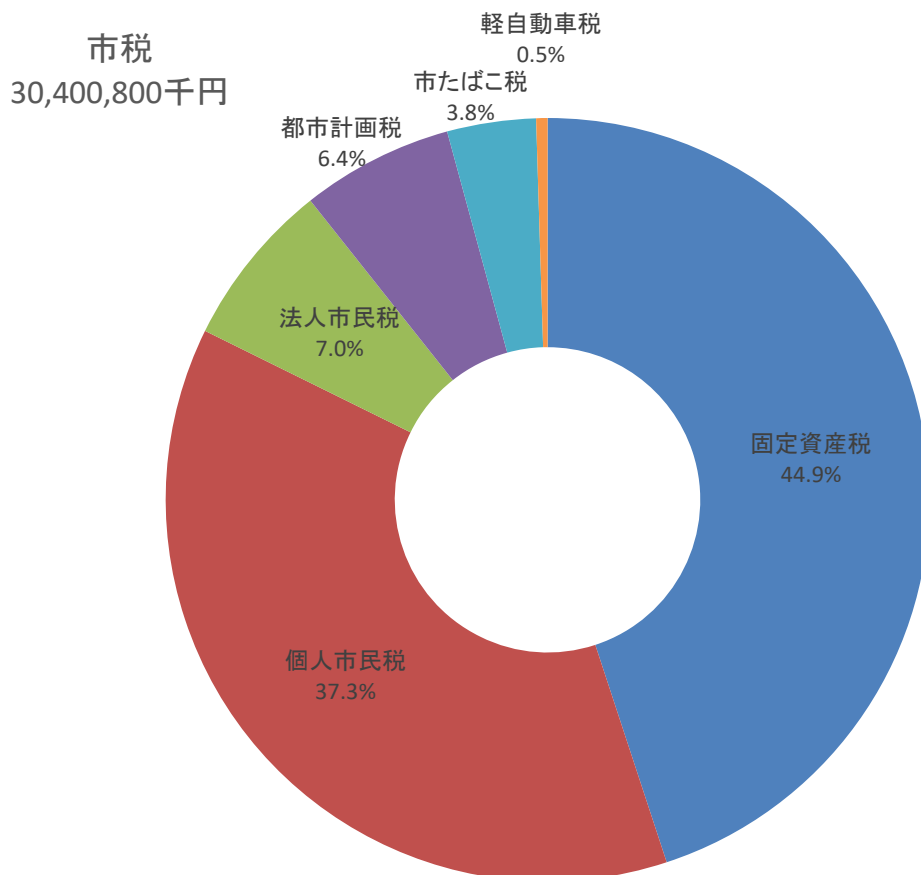
区 分	年 度	令和6年度			令和5年度			前年度当初予算額との比較	
		当初調定見込額	当初予算額	徴収率	当初調定見込額	当初予算額	徴収率	金 額	伸 率
市 民 税	個 人	385,035	98,183	25.5%	443,832	115,396	26.0%	△17,213	△14.9%
	法 人	18,673	7,954	42.6	28,597	8,464	29.6	△510	△6.0
	計	403,708	106,137	26.3	472,429	123,860	26.2	△17,723	△14.3
固定資産税		97,972	37,915	38.7	138,895	53,057	38.2	△15,142	△28.5
軽自動車税		7,012	1,262	18.0	8,433	1,408	16.7	△146	△10.4
都市計画税		14,418	5,579	38.7	20,151	7,697	38.2	△2,118	△27.5
合 計		523,110	150,893	28.8	639,908	186,022	29.1	△35,129	△18.9

3. 合計

(単位：千円)

区 分	年 度	令和6年度		令和5年度		前年度当初予算額との比較	
		当初調定見込額	当初予算額	当初調定見込額	当初予算額	金 額	伸 率
市 民 税	個 人	11,799,748	11,353,089	11,584,850	11,100,438	252,651	2.3%
	法 人	2,166,570	2,142,963	2,150,156	2,115,172	27,791	1.3%
	計	13,966,318	13,496,052	13,735,006	13,215,610	280,442	2.1%
固 定 資 産 税	固 定 資 産 税	13,443,098	13,329,658	13,202,882	13,064,787	264,871	2.0%
	国 有 資 産 等 所 在 市 交 付 金	334,123	334,123	341,572	341,572	△ 7,449	△ 2.2%
	計	13,777,221	13,663,781	13,544,454	13,406,359	257,422	1.9%
軽 自 動 車 税		151,460	143,139	153,673	144,080	△ 941	△ 0.7%
市 た ば こ 税		1,146,638	1,146,638	1,116,894	1,116,894	29,744	2.7%
都 市 計 画 税		1,967,844	1,951,190	1,920,122	1,900,068	51,122	2.7%
合 計		31,009,481	30,400,800	30,470,149	29,783,011	617,789	2.1%

4. 市税の構成比



令和6年度 主な事業

子ども応援プロジェクト【保育の質・魅力向上】

新 とだの保育の質・魅力向上プロジェクト (276,285千円)

深刻化する保育士不足への対策と、「安心して、預けられ、働ける保育園」であるための保育の質と魅力等の向上を図るため、とだの保育の質・魅力向上プロジェクトを実施する。

【 ① 経済的支援 】 ← 車の両輪 → 【 ② 保育園の質・魅力向上 】

① とだ保育士応援手当 (269,280千円)

保育士不足が深刻化 → 待機児童や保留児童数の増加等が懸念

保育士の確保と定着化、離職防止策を講じる必要

現行

賞与
年額 **20万円**

倍増

新設

給与月額に34,000円上乗せ支給
年額 **40万8千円**

■対象者：市内民間保育所等に勤務する保育士（660人）

② とだの保育の質・魅力向上事業 (7,005千円)

「安心して、預けられ、働ける保育園」であるために…

保育の質と魅力等の向上が必要不可欠
「とだの保育」の全体的な底上げのため、2年間のプロジェクト実施

プロジェクト
立ち上げ

公立(7)・民間
保育園(50)、学
識経験者、行政
等で構成

協議・
プラン策定

保育の質・魅力向上
保育士の確保・定着化
保育士の労働環境改善等

新規事業等
の展開

実践的で良質な
研修、魅力を高
めるブランド事
業等の実効性あ
る取組

「利用者や保育士に選ばれる保育園づくり」を継続的に推進

子ども応援プロジェクト【不登校支援の充実】

拡 AIによるこどものSOSの早期発見・プッシュ型支援 (18,480千円)

【経緯】

令和4年度から国の実証事業の採択を受け、個人情報保護や倫理面での配慮を前提として、教育分野を軸に、部局横断でデータ連携を行う、「教育総合データベース（以下、「DB」）」の構築に取り組んでいる。

(※令和4年度デジタル庁実証事業、令和5年度こども家庭庁実証事業)

【事業の詳細】

①データの分析結果等を見やすくしたダッシュボードを実装し、子どもたちの状況をワンストップで把握。
AIを活用した予測モデルによる不登校等のリスク判定も実施。



※ダッシュボードのイメージ。個人単位や学校単位等でデータを可視化。

【目的】

- DBにより子どもたちのデータをワンストップで可視化し、不登校など潜在的に支援が必要な子どもの早期発見、プッシュ型支援を実現する。
- AIを活用した予測モデルを構築することで、教師等の判断をサポートし、子どもたちのSOSの早期発見・早期対応に繋げる。

②ケース会議等の場で、従来の教師の見取りに加え、不登校等の予測結果や各種データをダッシュボードで確認し、関係者による支援策の検討や適切な支援に繋げる。



子ども応援プロジェクト【不審者の学校侵入防止】

拡 小・中学校の防犯対策強化 (232,375千円)

令和5年3月に発生した美笹中学校での不審者侵入事件を受け、市内全ての小中学校の防犯機能の強化を図り、児童生徒がより安全、安心に生活できる環境を整備する。

(1) 安全性向上のためのフェンス(以下安全フェンス)の設置 及び 玄関のオートロック化 (199,111千円)

市立小中学校 17校 (美笹中学校は対策済)

- 敷地外周部への安全フェンスの設置
- 来校者用玄関のオートロック化

●安全フェンス設置 (イメージ)



●オートロック化 (イメージ)



来校者用玄関

モーター付インターホン型

(2) ネットランチャーの配備 (33,264千円)

学校警備員や新たに設置するフェンス・玄関オートロックにより不審者の侵入防止を図るが、万が一、不審者が侵入した場合に備えて、市立小中学校 18校の全教室 (特別支援学級含む) に、操作が簡易で接近せずに使用できるネットランチャーを設置する。

●ネットランチャー (イメージ)



※ 小・中合わせて720機配備

※ 日本工機株式会社HPより提供
「ネットランチャー」は日本工機株式会社の登録商標です。

子ども応援プロジェクト【こどもの居場所の充実】

新 拡 福祉保健センターに新たな子ども支援活動拠点の整備 (9,285千円)

埼玉版スーパー・シティプロジェクトのモデル事業として、こどもの居場所に「コンパクト (多様な主体の交流機能)」と「レジリエント (助け合い機能)」の機能を付加した「新たな子ども支援活動拠点」を福祉保健センターに整備する。

- ①芝生、ウッドデッキには、遊具等を新たに設置し、親子や地域住民が集う場を整備
- ②建物内には、乳幼児から高齢者まで交流できる場やこどもの居場所ネットワークや民生委員など多様な主体が交流する場を整備
- ③調理室には、食育のほか、多世代が調理を通じて交流する場を整備



拡 子どもの居場所の整備・拡充 (15,821千円)

子どもの多様な居場所を整備する。

- ・学童保育室を補完する
- 「とだっこサマークラブ」を市内 **6か所** で開催予定
- ・自然体験活動の充実を図る
- 「プレーパーク」 **2.0回** の実施
- ・青少年の居場所の拡大



拡 子どもが外遊びできる環境の充実 (127,455千円)

喜沢二丁目児童遊園地と新田口公園において、地域の意見を踏まえながらボール遊びをできる施設を整備する。



現状の喜沢2丁目児童遊園地



リニューアルイメージ

子ども応援プロジェクト【教育や子育て支援の充実】

拡 児童・生徒用タブレットの更新 (95,625千円)

令和元年度にいち早く整備した児童・生徒用のタブレット端末を更新するとともに、端末故障時の代替機となる予備機を充実させる。

■ 入替え台数	
chromebook	: 3,868台
iPad	: 334台
計	: 4,202台



拡 高校3年生相当までの医療費支給制度の拡充 (84,411千円)

こどもの健康の向上や子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、こども医療費の通院費の支給対象を、令和6年7月診療分から高校3年生相当まで拡大する。

※原則、埼玉県内の医療機関での窓口負担なし



拡 こども家庭センターの体制強化や新たな支援による子育て支援の充実 (48,552千円)

全ての妊産婦、子ども、子育て世代を対象とした切れ目のない一体的な支援を充実させるため、こども家庭センターの体制を強化するとともに、新たな子育て支援プログラムを導入する。

- こども家庭センターの体制強化
 - ・母子保健と児童福祉を統合した「親子健やか室」を新たに組織する。
- 新たな子育て支援プログラム
 - ・特定妊婦や要支援児童等に対するサポートプランを作成し、包括的な支援を行う。
 - ・児童発達支援事業所等の外部の知見を活用したペアレントトレーニングを新たに開催する。



子ども応援プロジェクト【学校・学童保育室の施設整備】

新 小学校増改築等工事 (3,037,079千円)

小学校校舎の老朽化や児童数の増加による教室不足を解消するため、市内4校の増改築等工事を実施。

- 実施校
戸田第一小、新曽小、芦原小、戸田南小



新 中学校改築等工事 (16,060千円)

美笹中学校校舎の老朽化に伴う建て替えのため、基本計画の策定を実施。

- スケジュール (仮) ※基本計画の中で検討

令和6年度	基本計画策定
令和7年度から8年度	設計 (基本設計、実施設計)
令和9年度から11年度	工事

拡 小中学校バリアフリー等工事 (132,990千円)

市内全ての小中学校を対象として、バリアフリー化及びトイレ洋式化のための改修工事を実施する。

- 令和6年度実施
バリアフリー改修工事 (喜沢中、新曽中、笹目中)

※令和7年度に小学校10校、中学校3校の工事を実施し、市内全ての小中学校のバリアフリー環境整備が完了する予定

拡 学童保育室整備 (戸一小・芦原小) (130,108千円)

戸田第一小学校及び芦原小学校の待機児童対策として、戸田第一小学校第1学童保育室の建て替え及び芦原小学校第2学童保育室を設置する。

- スケジュール (完成予定)

令和6年10月	戸田第一小第1学童保育室	定員25人増
令和7年2月	芦原小第2学童保育室	定員30人増

100年健康プロジェクト【妊娠・出産前後の女性支援】

拡 妊娠・出産前後の女性に対する支援の拡大と子育て支援アプリの導入 (59,150千円)

(1) 産後ケア事業の拡大

・産後ケア事業の「訪問型」に加え、新たに、助産所等へ宿泊し、産婦及びご家族の生活に合わせた自宅育児方法を支援する「**宿泊型**」(延泊可)及び助産所等に通所し、自宅育児の相談に対応する「**通所型**」を実施する。



(2) 産後サポートプログラムの新規導入・実施

出産後1年未満のすべての産婦が、産後も安心して子育てができる環境を充実させるため、産後ケアプログラムを新たに導入・実施する。

- ・「産後ケア教室」：毎月1回、産婦のニーズに沿った教室を開催する。
- ・「産後サポート事業」：**産婦一人につき2万円分**のクーポン券を配布し、複数のメニューから希望するメニューを選択・利用できる産後サポートを行う。

(メニュー例) ○沐浴レッスン(パパ同時レッスン) ○24時間助産師LINE相談
○母乳育児・母乳栄養相談 ○お弁当の配食サービス



(3) 子育て支援アプリ「母子モ」導入

「妊娠届出書・各種申請書のデジタル化」と「申請・面談予約のオンライン化」を図るため、子育て支援アプリ『母子モ』を導入する。

- 【アプリ導入で可能なこと】
- ・妊娠届出書、産後ケア事業等の申請書の電子化
 - ・保健師との面談等の予約
 - ・「電子母子手帳機能」で、子どもの身長・体重等を記録
 - ・子育て動画の配信



100年健康プロジェクト【食育推進による健康づくり】

拡 全ての世代の食事を改善 (2,566千円)

市民一人ひとりが食生活改善に取り組めるよう、「食」への関心を高める取組を行い、生活習慣病の予防、健康寿命の延伸につなげる。

(1) 「朝ごはんキッズ料理教室」と「朝食自慢レシピのコンテスト」開催

小学生親子を対象に食育の大切さ、レシピ講座・実習の料理教室を開催する。
また我が家自慢の朝食レシピを募集し、優秀レシピの表彰を行うなど、食を通じた健康づくりを推進する。



(2) 服部学園 服部幸應校長によるセミナー・講演会開催

ライフスタイルの多様化などによる、子どもたちの生活習慣の乱れが、学習意欲や体力、気力の低下の要因の一つとして指摘されている中、「早寝・早起き・朝ごはん」の励行など、基本的な生活習慣の向上を目的にセミナー・講演会を開催する。

(3) すこやかTODAシリーズの展開

「すこやかTODAシリーズ」として新たに「すこやかTODA定食」の開発販売を行う。

(4) スマートミール※の普及啓発

スマートミールに関する講演会を行う。また、市内事業者がスマートミール認証を取得するための相談・助言を行う。

※スマートミール=健康づくりに役立つ栄養バランスのとれた美味しい食事のこと



100年健康プロジェクト【歩きたくなるまちづくり】

拡 戸田市ウォーカブル推進事業 (19,910千円)

人々が交流できる賑わいの場を創出する「まちなかウォーカブル推進事業」を推進する。

令和6年度は北戸田駅周辺の賑わい空間の形成を目指し、ウォーカブルな街の将来像を描いたビジョンを策定する。



新 コバトンALKOOマイレージの加入促進 (8,442千円) 拡 (TODAPAYを使った健康マイレージのインセンティブ)

今年度中に運用が終了する歩数アプリ「コバトン健康マイレージ」から新たな「コバトンALKOOマイレージ」への移行促進に加えて、TODAPAYのさらなる普及につなげる

■実施内容
「コバトンALKOOマイレージ」とTODAPAYアプリの両方に登録した市民に対し、500円分のTODAPAYポイントを付与

新 北戸田駅西口駅前交通広場整備 (260,127千円)

新曽第一土地区画整理事業の一環として、北戸田駅前の交通広場や交流エリアなどを整備する。



100年健康プロジェクト【シニア世代の健康増進】

新 高齢者補聴器購入費助成 (2,000千円)

高齢者の他者とのコミュニケーションを確保するとともに、認知機能の低下や閉じこもりを予防し、積極的な社会参加を促進するため、補聴器購入費の一部を助成する。

対象者は、医師により必要性を認められている等の要件を満たす高齢者で、**一人一回限り、県内最高水準の4万円を限度**として助成する。



新 介護ロボット等導入支援補助 (2,000千円)

介護サービス事業所における介護従事者の負担軽減及び定着のため、介護ロボット及びICT機器の導入に係る費用に対し、**県内市町村では初となる補助を行う。**

補助額は**1事業所当たり10万円を限度**とする。



拡 健康福祉の杜改修工事 (130,793千円)

竣工から25年以上が経過した健康福祉の杜について、利用者への安心・安全なサービス提供を維持するため、主に設備面の改修工事を行う。

改修工事は令和6年度から令和8年度にかけての約2年間で実施する。



拡 シニア向け企業説明会、見学会の開催 (248千円) (シニア活躍の担い手の育成)

豊富な知識・経験・技術を持つシニアが住み慣れた地域で「活躍」出来る社会参加への支援をする。

■実施内容
ハローワーク川口と連携し、シニア向けの説明会を開催する。

シニア人材を募集する企業を1ヶ所に集めて企業説明会を開催する。また、企業を見学する機会を創出する。



100年健康プロジェクト【健康政策の推進】

拡 キッズ健幸アンバサダー養成プロジェクト (17,259千円)

市内小学校にオリンピック・パラリンピアンを招き、スポーツの楽しさや、運動による健康づくりの重要性などを理解し、まわりの人にも伝えていくアンバサダーを養成する。

⇒令和6年度は6校で実施

※令和5年度：5校、令和4年度：1校
3年間で全小学校で実施



令和5年度戸東小講師：有森裕子さん

新 带状疱疹ワクチンの接種費用助成 (29,962千円)

任意接種である带状疱疹ワクチンの接種費用は個人負担となっており費用も高額であることから、令和6年4月以降、**接種費用の一部を助成**する。

- 対象者：50歳以上の市民
- 助成額：生ワクチン 4,000円
不活化ワクチン 10,000円×2回



新 ひきこもり相談体制の強化 (1,552千円)

義務教育終了後に、教育センターと連携し、地域の相談支援への切れ目ない支援が受けられるよう、体制等の整備を実施する。

■実施内容

- ・臨床心理士の配置
(月2回、福祉保健センター内で相談支援の実施)
- ・ひきこもり問題普及啓発のための講演会の開催

拡 医療・福祉・地域連携による「社会的処方」の周知・啓発 (220千円)

蕨戸田市医師会と連携し、市民医療センターと公平病院の実証実験を経て、「**社会的処方**」を市内全域に展開

- 「社会的処方」の取組
医師が患者の健康改善のために、「集い」・「運動」・「栄養」などの地域の社会資源につなげる必要性を判断し、コーディネート役となるリンクワーカー（市内の地域包括支援センター等に配置）と連携して、地域の活動につなげる
※取組実施医療機関数：22医療機関（令和6年1月末現在）

防災プロジェクト【大災害への備え】

拡 能登半島地震を踏まえた大災害への備えの充実① (301,079千円)

(1) 予備費を倍増 (100,000千円 ⇒ 200,000千円)

- ・大災害発生直後、国や他自治体の支援が届くまでの間、予算措置の時間を要することなく、機動的な財政支出を実現

(2) 災害備蓄品の強化 (41,562千円)

- ・被災地で特に問題となった生活用水の不足と電源不足への対応のため、トイレ、非常用電源などを新たに購入



自動ラップトイレ (イメージ)



災害用トイレ (イメージ)



蓄電池 (イメージ)



発電機 (イメージ)

防災プロジェクト【大災害への備え】

拡 能登半島地震を踏まえた大災害への備えの充実② (301,079千円)

(3) 既存住宅耐震診断・改修補助金を拡充

(1,000千円⇒2,000千円)

地震による家屋倒壊等の防止を目的に補助金額を増額する

1981年以前に着工された一戸建て住宅または共同住宅が対象

耐震診断

- ・一戸建て住宅または木造共同住宅 上限額10万円/棟
- ・木造以外の共同住宅 上限額 100万円/棟
(2万円/戸)

耐震改修(木造住宅のみ対象)

- ・一般耐震改修 上限額 50万円/棟
- ・簡易耐震改修 上限額 20万円/棟



(4) 危険なブロック塀撤去に係る補助金を拡充

(1,200千円⇒3,000千円)

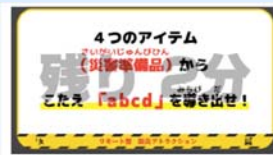
市内の危険なブロック塀の解消を目的に補助金額を増額する

- ・撤去 上限額 20万円
- ・築造等 上限額 10万円



(5) デジタル防災訓練 (2,827千円)

ゲーム感覚を取り入れた防災訓練をリモートで実施することで、家庭で気軽に参加できる防災訓練の機会を創出し、防災意識の啓発を図る。



防災プロジェクト【大災害への備え】

拡 東部分署建替 (86,470千円)

東部分署の消防活動拠点機能の強化を図るため、改築工事を行う。

■事業スケジュール

令和6年度～令和8年度 改築工事
令和8年度 供用開始



拡 消防車両の更新等 (92,874千円)

消防署に配備されている3.5m級はしご付き消防自動車の修繕を実施する。

また、消防車両等更新計画に基づき、東部分署の水槽付き消防ポンプ自動車の更新を実施し、消防力の強化を図る。



新 避難場所提供に関する民間企業との協定

災害時において、公共施設以外の避難場所確保や必要な物資や資器材の提供をうけるため、民間企業や板橋区と新たに協定を締結。今後も多様な企業と協定を締結することにより、災害時の対応強化を推進する。

- ・新規建設された物流倉庫と緊急避難場所の確保(物資提供含む)
- ・市内ホテルへの2次避難受け入れ場所の確保
- ・必要な物資や資器材の提供と被災者の一時的な避難施設の確保



防災プロジェクト【危機管理体制の充実】

拡 危機管理防災センター機能の追加 (36,384千円)

災害対策本部と離れた拠点に、災害情報を共有するための情報伝達手段を整備することで、適切な災害対応や迅速な情報発信を可能とする危機管理防災センター機能を実現。

(1) 移動系無線端末100台導入 (31,069千円)

位置情報の把握や、チャット機能、動画通信機能等を有する最新の移動系無線機を導入する

(2) 災害時情報共有基盤(電子黒板)4台設置 (5,315千円)

複数拠点との相互の情報共有・伝達を可能とする電子黒板を導入し、適切な状況把握と効率的な災害対応を目指す



防災プロジェクト【水害への備え】

拡 市内の浸水対策① (5,449,500千円)

(1) 雨水貯留管整備 (5,449,500千円)

戸田駅西口及び新曽地区北大通り周辺の浸水被害の軽減を図るため、北大通りの地下に雨水貯留施設(貯留量約26,000m³、内径6m、延長約920m)の整備を実施している。

令和3年度から工事着手し、令和6年度末に完成予定。

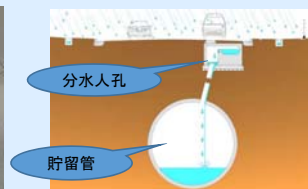
令和6年度は、シールドマシンでの掘進作業を完了させるほか、分水人孔やポンプ施設の設置を行う。



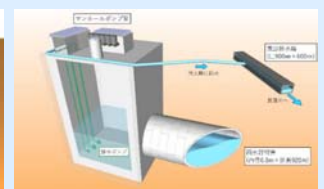
シールドマシン



初期掘進状況



分水人孔イメージ図
(前田・西松・福田JV提供)



ポンプ施設イメージ図
(前田・西松・福田JV提供)

■ 市民への見学会

市民の防災意識の向上や浸水対策事業への理解を深めることを目的に、完成後に見学会を開催予定。



見学イメージ
(東京都和田弥生幹線)

防災プロジェクト【水害への備え】

拡 市内の浸水対策② (911,920千円)

(2) 道路冠水対策 (366,556千円)

集中豪雨による道路冠水対策として「市役所南通り」、「北大通り」の雨水排水施設整備及び戸田駅西口駅前の道路冠水対策として雨水横断施設の改修を実施する。

※函渠型（都市型）側溝設置効果のイメージ



(3) 道路橋からの溢水対策 (59,877千円)

さくら川の橋梁のうち、道路（橋面）が堤防よりも低いため、溢水による浸水被害の恐れがある橋梁について、架け替えまでの対策として、止水パネル等を設置する。



(4) 上戸田川・さくら川整備事業 (485,487千円)

上戸田川、さくら川の治水機能の向上を図るため、埼玉県や流域自治体と連携しながら河道整備、護岸改修整備を実施し、水害に対し安全・安心に生活できるまちづくりを推進する。



令和6年度の主な取組（3大プロジェクト以外の取組）

新 2050年脱炭素社会実現に向けた各種取組 (26,167千円)

今年度中に2050年ゼロカーボンシティを表明し、温室効果ガス削減に向けた取組を行っていく。

(1) 市で取り組むこと (18,567千円)

■実施内容

- ・美里町との森林整備によるカーボンオフセットに関する協定の締結
協定の締結に加え、植樹体験などのバスツアーを実施する。
- ・公共施設等の太陽光発電設備等導入調査
- ・公共施設への再エネ100%電力の調達



(2) 市民・事業者の取組へのサポート (7,600千円)

■実施内容

- ・省エネ家電買換補助金
市民の省エネ家電（エアコン・冷蔵庫）への買い換えに対して補助を実施する。
- ・再エネ由来電力への切替支援
再エネ由来100%電力を契約した市民・事業者に対し、協力金を支給する。
- ・事業者へのエネルギー対策の支援
温室効果ガス排出量の可視化や省エネ診断等のエネルギー対策に対し、補助金を支給する。



令和6年度の主な取組（3大プロジェクト以外の取組）

拡 市内経済の応援（261,440千円）

（1）プレミアム付電子商品券事業「TODAPAY」（227,982千円）

市民生活と市内事業者を支援するため、戸田市商工会と連携し、プレミアム付電子商品券であるTODAPAYを継続して実施する。



- 実施内容
 - ①春実施（令和5年12月定例会で予算措置済）
プレミアム率30%、30,000セット販売、利用期間4月から8月まで
 - ②秋実施
プレミアム率20%、25,000セット販売、利用期間9月から翌年1月まで

（2）DX伴走支援、補助金の拡充（19,540千円）

市内事業者の産業競争力の強化を図るため、外部の知見を活用したDX伴走型支援事業を実施する。



（3）市の魅力PR冊子作製事業（13,918千円）

制作から約5年が経過する「るるぶ特別編集 戸田」に代わる市のPR冊子を新たに制作し、観光資源や戸田ブランド等を発信する。



令和6年度の主な取組（3大プロジェクト以外の取組）

拡 スポーツの推進（11,848千円）

（1）スポーツセンター再整備に係る「基本構想」の策定（10,334千円）

施設のコンセプトや導入施設等をまとめる「基本構想」を策定する。

- ①基本構想策定に係る検討委員会の立上げ
- ②施設の現況整理や施設再編に当たっての課題の整理
- ③市民・スポーツ関連団体への施設ニーズ等調査



（2）「ボートのまちづくりコンソーシアム」による協議・イベントの実施（714千円）

地域住民、ボート関係者及び行政の協働による協議・イベントを実施する。

- ①地域課題の共有及び解決に向けての協議
- ②戸田ボートコースなどを会場としたボートに触れることができるイベントの実施
➤「ボートのまち戸田」のイメージ定着、関心度の向上、地域への愛着の形成につなげる。



（3）市内スポーツチーム応援の気運醸成（800千円）

地域資源であるトップリーグで活躍する市内スポーツチーム（戸田中央メディックス埼玉、ヤクルトレビズ）を市を挙げて応援し、トップレベルのスポーツに触れる機会やスポーツ選手のモチベーション向上につなげる。



令和6年度 戸田市水道事業会計予算

1. 収益的収入及び支出

(単位:千円)

科 目 名		令和6年度当初予算額	令和5年度当初予算額	対前年度比較	
				金 額	伸び率(%)
(収入)					
第1款	水道事業収益	2,628,538	2,599,499	29,039	1.1
主要な収益	給水収益	2,170,393	2,192,133	△ 21,740	△ 1.0
	その他営業収益	359,245	305,895	53,350	17.4
(支出)					
第1款	水道事業費用	2,601,786	2,633,342	△ 31,556	△ 1.2
主要な費用	原水及び浄水費	1,192,623	1,252,833	△ 60,210	△ 4.8
	減価償却費	710,917	716,237	△ 5,320	△ 0.7
(収入)－(支出)		26,752	△ 33,843	60,595	—

2. 資本的収入及び支出

(単位:千円)

科 目 名		令和6年度当初予算額	令和5年度当初予算額	対前年度比較	
				金 額	伸び率(%)
(収入)					
第1款	資本的収入	222,989	291,542	△ 68,553	△ 23.5
主要な収入	企業債	83,000	192,137	△ 109,137	△ 56.8
	工事負担金	101,644	73,955	27,689	37.4
(支出)					
第1款	資本的支出	1,471,059	1,097,897	373,162	34.0
主要な建設 改良事業	配水管布設事業	68,038	主な工事 ・ 配水管布設工事 ・ 浄水場設備更新工事 ・ 配水管更新工事		
	浄水場整備事業	500,124			
	配水管改良事業	492,954			
	小 計	1,061,116			
(収入)－(支出)		△ 1,248,070	△ 806,355	△ 441,715	—

令和6年度 戸田市下水道事業会計予算

1. 収益の収入及び支出

(単位:千円)

科 目 名		令和6年度当初予算額	令和5年度当初予算額	対前年度比較	
				金額	伸び率(%)
(収入)					
第1款	下水道事業収益	2,642,768	2,712,894	△ 70,126	△ 2.6
主要な収益	下水道使用料	1,408,340	1,445,440	△ 37,100	△ 2.6
	他会計負担金	751,047	770,324	△ 19,277	△ 2.5
(支出)					
第1款	下水道事業費用	2,544,740	2,557,089	△ 12,349	△ 0.5
主要な費用	管渠費	217,460	165,740	51,720	31.2
	施設費	191,287	207,609	△ 16,322	△ 7.9
	流域下水道費	594,144	663,516	△ 69,372	△ 10.5
	減価償却費	1,098,193	1,116,858	△ 18,665	△ 1.7
(収入)－(支出)		98,028	155,805	△ 57,777	—

2. 資本の収入及び支出

(単位:千円)

科 目 名		令和6年度当初予算額	令和5年度当初予算額	対前年度比較	
				金額	伸び率(%)
(収入)					
第1款	資本の収入	6,268,603	2,099,892	4,168,711	198.5
主要な収入	企業債	3,234,750	1,166,000	2,068,750	177.4
	国庫補助金	3,018,800	912,970	2,105,830	230.7
(支出)					
第1款	資本の支出	7,353,354	2,881,159	4,472,195	155.2
主要な建設改良事業	雨水整備事業	5,627,527	主な工事等 ・ 雨水貯留管築造工事委託 ・ 浸水対策工事 ・ 雨水工事 ・ 汚水工事		
	汚水整備事業	595,538			
	施設改良事業	375,428			
	小 計	6,598,493			
(収入)－(支出)		△ 1,084,751	△ 781,267	△ 303,484	—